

分子研技術課

めて、あの時が一番働いたものだと思います。当時は、まだ、WIDEプロジェクト¹⁾が実験ネットワークとしてインターネットの試みがされている時代でした。その時に、日本で初めての運用型ネットワーク組織であったTISN(東京大学国際理学ネットワーク)²⁾に分子研が参加することになり、その参加に係わる一切を任せられたのがはじまりでした。もちろん、所属していた計算機センターでは初めての試みで、誰もそのノウハウを持っていませんでしたし、民間のISP³⁾なども存在しない時代でしたので、TISNのお膝元である東京大学理学部の坂村健先生の研究室へ足を運び、その研究室にいらっしゃった高田浩章さん(現名古屋大学院教授)から、接続に関する助言を多く頂き、研究所へ戻っては、目の前にある数台のサーバとでっかいルーターを相手に七転八倒していたことを思い出します。事務的な手続き、会議への出席、環境構築などで作業に没頭し、深夜になることがほとんどでしたが、仕事の充足感はたっぷりあり、むしろ、こんな機会

をいただけるのも分子研にいるからこそだ、と感謝の毎日を送っていたことを思い出します。

このように私が分子研で経験できたことは、人生でもなかなかできないことばかりだと思っています。当時、不謹慎にもスーパーコンピュータのメインコンソールで、キーボードの練習などを行っていたことは、身の程知らずもいところで、まがりなりともそれが許される(本当は許されませんが)環境にいたこととそのスケール感を今となっては充分実感しています。目の前に当たり前のようにある環境は、誰もそれが特別なことと疑いもしないのですが、それが偉大な組織の中で守られ、その中で自分を育ててくれたことを、今はしみじみと感じます。たった4年間でしたが、分子研に在籍できたことは、自分の人生に大きな道筋をもたらしてくれました。

現在は、企業の経営の傍らで、岡崎市内で行われるさまざまなイベントからんでいます。地域SNSサイト「オカコミュ」⁴⁾の運営、りぶらまつり⁵⁾への支援、

市内へのイベント情報の提供など、地域活性化に少しでもつながればと地道な活動を行っています。そんな折、分子研の存在を知らない市民の方がとても多いことも事実として知りました。こんな世界的権威のある研究所を、岡崎の人はもっと知らなければいけないと思っています。なんとか、自分の活動を通じて、分子研の存在を知ってもらえることができるよう、その仲介の担い手として、買って出たいと思っています。それは、自分ができる分子研やそこでお世話になった方々への恩返しだとも思っています。

このように、分子研には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、当時お世話になりました内田技術課長、諸熊奎治先生、中村宏樹先生、北浦和夫先生、青柳睦先生、長嶋雲兵先生、そして、西本史夫(当時班長)さんにこの機会をお借りして感謝申し上げたいと思います。また、このような機会をいただいたレターズ編集委員会および技術課の皆様にご挨拶申し上げます。

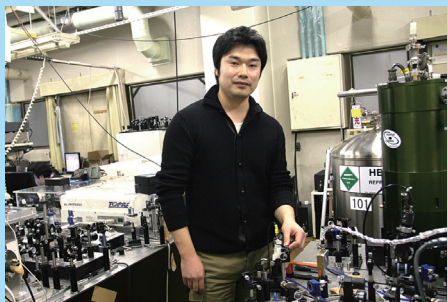
本当にありがとうございました。

- 1) WIDEプロジェクト 慶應義塾大学の村井純教授らが中心になって1988年に設立された、インターネットに関する研究プロジェクト。
- 2) TISN (Todai International Science Networkの略) 1989年に東京大学理学部を中心に構築された日本発の運用型の学術ネットワーク。
- 3) ISP (Internet Service Providerの略) インターネットに接続するためのサービスを提供する企業あるいは団体。日本ではIJJが1993年日本発のISPサービスを行った。
- 4) オカコミュ(岡崎コミュニティの略) 岡崎市の地域SNSサイト。NPO関係者、地元雑誌関係者、地元FM局の関係者など、岡崎市の活性化のための情報交換サイトとして運営中。<http://okacomm.acplanet.biz/>。
- 5) りぶらまつり 2010年2月27,28日に開催予定のりぶらサポーターズクラブ主催の岡崎市民手作りのお祭り。

技術職員新入紹介

平成21年10月1日付

光技術班に 岡野泰彬さん 着任



主な業務：
レーザーを利用した装置・方法論の開発および維持発展を担当。

自己紹介文はP.33をご覧ください。

平成21年11月1日付

学術支援班に 寺内かえでさん 着任



主な業務：
サイエンスコミュニケーターとしてプレスリリース、アウトリーチ活動等を担当。